

見やばわな雄島の海人の

袖だにも濡れにぞ濡れ

色は変はらず

(涙で色が変わってしまった)わたしの袖を

あなたにお見せしたいものです。

あの雄島の漁夫の袖でさえ、毎日波しぶきに

濡れていても、少しも変わらないものなのに。

(百人一首 九〇番 殷富門院大輔)

中一三三